

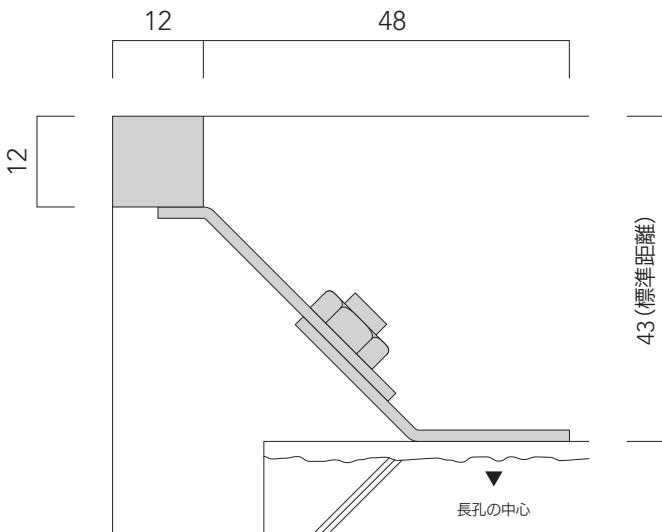
Previo G7

屋外RC階段用 埋込み見切り

施工要領書

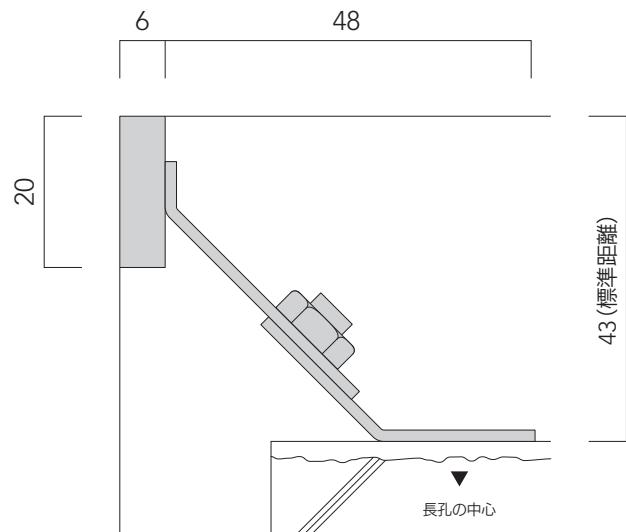
Previo G771

〈モルタル押え納まり〉



Previo G773

〈モルタル押え納まり〉



施工前の確認事項

- RC階段用の段鼻保護見切りです。
- 屋外用途に最適化していますが、屋内でも使えます。
- モルタルに埋込んで使用します。
- モルタル押えあるいは磁器タイル用(12mm以下)です。
- 踏面をならす「しごきモルタル」を推奨します。
- 上下±3mm、前後±3mm(および長孔による±4.5mm)の調整機能付きです。設置下地面が調整可能範囲にあることを施工前に必ず確認してください。
- G773は、フラットバーの広い側面が垂直になるよう施工します。水平に施工すると滑りやすく危険です。

推奨工具

- 取付けビス
 - ・M5ナベ/トラスビス(ステンレス製)

Ver.2025.06

施工方法

- ①設置下地面と踏面仕上げ面との距離が43mm(標準距離)となるよう、しごきモルタルでRC軸体をならします。
 - ②角棒／フラットバーの角を墨出し位置にあてがい、両端のブラケットを調整して接地させ、ナットを仮締めします。
 - ③アームの長孔を利用して、その中央をねらってドリルで軸体に穴をあけ、ステンレスのビスで固定します。
 - ④再度墨出し位置への微調整を行い、ナットを強く締みます。
 - ⑤中間にあるブラケットを施工します。
 - ⑥ブラケットがぐらつかず、確実に固定されていることを確認して、ブラケットの取付け工事は完了です。
- ※埋込み前のG7には、衝撃・荷重に対する十分な強度がありません。踏みつけるなどの強い力がかかると、曲がったり折れたりする可能性があります。モルタル押え・磁器タイルの施工前および施工中は十分な注意が必要です。
- ⑦アーム・ボルト・ナット・ビスなどの突起物に食いつくように、モルタルを確実に充填しながらブラケット全体を完全に埋込み、金ゴテ押えあるいは磁器タイルで仕上げます。
- ※ブラケットの「窓」を通して、角棒／フラットバーの下部にもモルタルが確実に充填されていることを確認します。空洞などの施工不良が発生しないよう十分にご注意ください。
- ※モルタルが完全に硬化するまでは、通行止めなどの保護措置によって、美観と強度の確実な実現にご配慮ください。

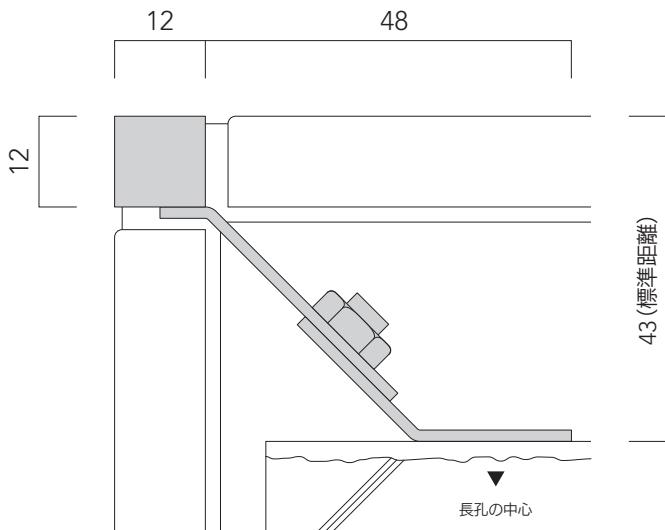
Previo G7

屋外RC階段用 埋込み見切り

施工要領書

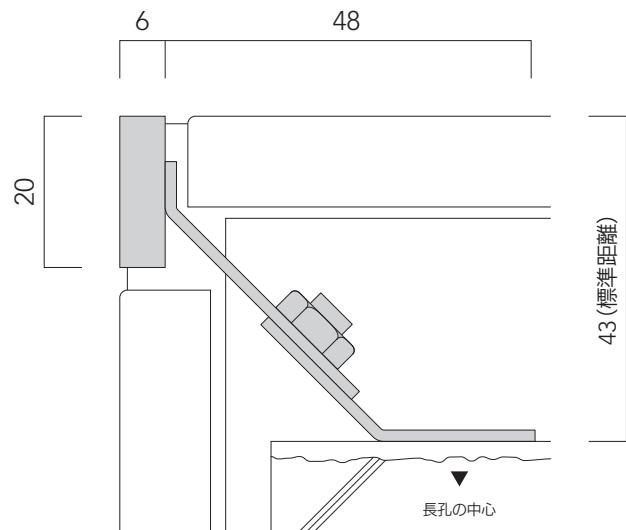
Previo G771

〈磁器タイル納まり〉

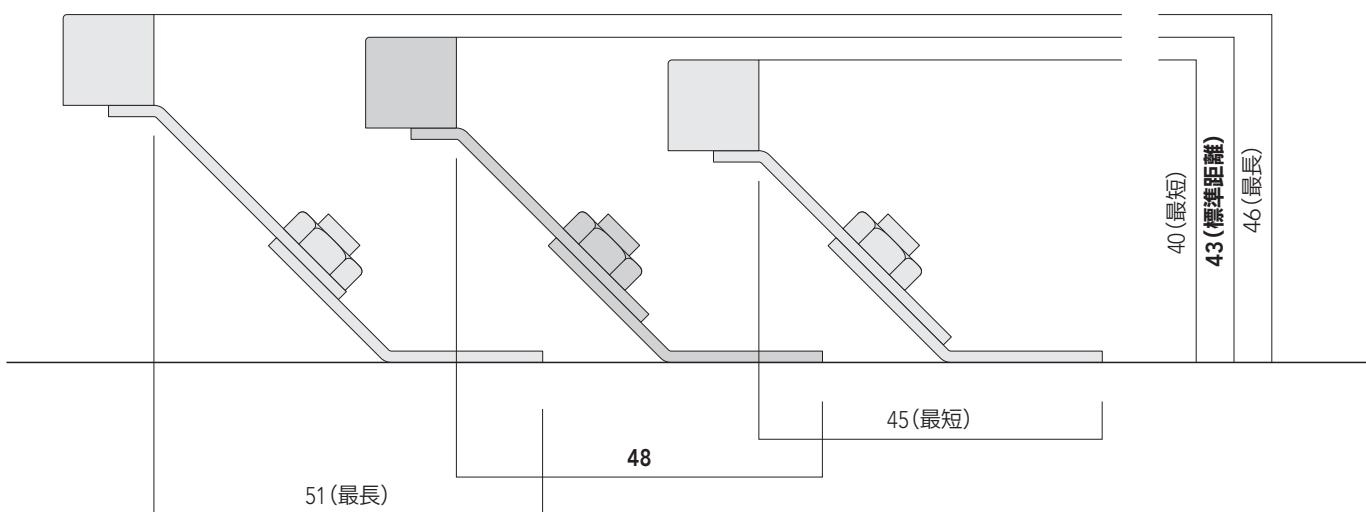


Previo G773

〈磁器タイル納まり〉



高さ調整と標準距離



Previo G7

屋外RC階段用 埋込み見切り

施工要領書

共用ブラケットの詳細

〈アーム最短の場合〉

